

## 「変化に対応する力」

学校長 川井田 祥子

新年度が始まって2カ月が経ちました。新しく本校へ入学してきた児童生徒は、期待と不安の入り混じるような気持ちを抱いていたでしょうが、笑顔で登校してくれるので少しずつ慣れて楽しい学校生活を過ごせているようです。すでに在籍していた児童生徒のうち上の学部へ進んだ生徒は、中学部の制服姿で急に大人びて見えたり、専攻科生になって私服でのおしゃれを楽しんでいるようだったり、朝のひとときでも変化が感じられます。

4月18日には「児童生徒会役員選挙」を実施しました。半年ごとに実施しており、毎回、鳥取市役所から国政選挙などで使用する投票箱や投票記載台をお借りし、体育館に投票所を設営します。ホンモノを使っての選挙は2016年から行っており、同年6月から選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられたため「投票行動を少しでも身近に感じてほしい」と願ってのことだそうです。会長・副会長・書記に立候補した生徒は事前に自分の写真を使ってポスターを作り、演説用の原稿も用意します。さらに、それぞれの立候補者に対して応援者が一人ずつ応援演説を行いますし、当日の司会や選挙管理委員も生徒が担当するなど、実体験を通して学ぶ機会になっています。

今年は例年どおり、体育館に児童生徒が集まって行う予定だったのですが、感染症対策のために急きょ、演説を録画し、児童生徒はそれぞれの教室で録画したものを視聴してから投票するという方法に変更しました。録画は教員が行ったものの、話し始めるタイミングや見え方(写り方)の調整、話す内容の変更など、直前になって対応せざるを得ないことが多々ありました。それでも生徒たちは自分の役割を精一杯はたし、無事に選挙を終えることができたのです。突然の変更は大人でもとまどうことが多いのに、「よく対応してやりきったなあ」と感じました。

新生活に伴う環境の変化、突然の状況変化など、日々いろいろな出来事があるものの、児童生徒はたくましく乗り越えていく力があると信じ、見守っていくことの重要性を再認識しています。

## 「祝・開催!!ふれあいピック!!!」

実行委員長 柴田 浩兵

5月14日(土)に3年ぶりにふれあいピックを開催することができました。12日(木)の総練習あたりから天候がややよくなり、やきもきしましたが、グラウンドで保護者の皆さんに児童生徒の姿を見ていただくことができ本当に、本当に良かったです!!

各学部・科の演技は、一生懸命さやたくましさ、かっこよさ等の特徴がよく表れていたように思います。演技後の様子を見ると「頑張ったぞー!」という想いを、全身でアピールしたり、仲間と共有したり、自分で噛みしめたりと、それぞれの形で表現しているようでした。たくさんの人に頑張りを直接見てもらう機会が少ない今だからこそ、児童生徒にとって、とても貴重な時間になったように思います。

交流演技が無くなり、フィナーレのダンスもディスタンスを保った状態での実施となりましたが、みんなの頑張りを見守る仲間や保護者の方の温かい眼差しや、「やってみよう!」という児童生徒の姿勢は変わらないことを改めて感じました。最後になりましたが、いろいろな面でのご協力に感謝しております。本当にありがとうございました。



【裏へ】

## ～各学部の取り組み～

	めざす児童・生徒の姿	学部で大切にしたいこと
小学部	「友だちの中で、自分のよこびを自分でつくりあげていく子」 ～自分っていいな、友だちっていいな、なんでもチャレンジ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分っていいな」という自己肯定感</li> <li>・経験の積み重ねにより、好きなことを発見</li> <li>・友だちと空間を共有する中で安心感をもち、自分らしく自我を発揮</li> </ul>
中学部	「自分のめあてに向かって、仲間と一緒に意欲的に活動する生徒」 ～見つけよう 広げよう 仲間とともに～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に活動に取り組み、やり遂げた達成感</li> <li>・様々な集団の中で、「自分らしさ」の発揮</li> <li>・人との関わりや生活経験の拡大</li> <li>・仲間とともにいろいろなことにチャレンジ</li> </ul>
高等部 本科	「自分を見つめ 個性をいかし 仲間とともに主体的に生活する生徒」 ～自己選択・自己決定・自己責任… そして気づき合う仲間～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己選択～自分で選ぶ</li> <li>・自己決定～自分で決める</li> <li>・自己責任～自分のこととして自覚する</li> <li>・気づき合う仲間～お互いに認め合える仲間</li> </ul>
高等部 専攻科	「社会への関心をもち、様々な人と関わりながら、積極的に社会へ参加しようとする青年」 ～まずやってみよう、自分を見つめ、広い社会へとびだそう～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治的活動</li> <li>・七転び八起きの自分づくり</li> <li>・実践や学習の場を地域社会へ</li> </ul>

## ～新任の教職員の紹介～



安本 理恵 (支援部 副校長)	鳥取県立鳥取養護学校から転任しました。みなさんとしっかりとコミュニケーションを取り合い、一緒に生活を楽しまたいと思います。よろしくお願いします。
廣畑 直子 (中学部1年担任)	鳥取聾学校から転任してきました。笑顔で、児童生徒とともに様々なことにチャレンジしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
山根 大 (小学部2組担任)	倉吉養護学校から着任してきました。子どもたちと過ごしながらいいところをたくさん見つけていきたいと思います。そして、子どもたちや保護者の皆さんの気持ちや声をしっかり聞くことも大切にしていきたいです。よろしくお願いします。
村上 佳代 (中学部2年担任)	倉吉養護学校から転任してきました。色々な学習や活動を楽しみにしています。みなさんの楽しい学校生活の一助となるよう頑張ります。よろしくお願いします。
福田 美恵子 (養護教諭)	白兔養護学校から転任してきました。コロナ禍での新しい生活スタイル、過ごしにくさもありますが、児童生徒の皆さんが、健康的な生活が過ごせますよう一緒に頑張っていけます。どうぞよろしくお願いします。
越宗 健一郎 (事務係長)	はじめまして！大学の事務局から異動してきました。まったくの未経験者ですが、一日も早くみなさまのお役に立てられるよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
奥田 智 (高等部本科担当)	この度、高等部に配属になりました。持ち前の明るさと、生徒との歳の近さを生かして、元気で根気強い支援をしていこうと思っています。よろしくお願いいたします。
上山 真由美 (高等部専攻科担当)	特別支援学校は初めてですが、毎日専攻科の学生さんたちといろいろな話をするのが楽しいです。学生さんたちと自分らしく頑張っていけるよう、お手伝いができたらと思います。
井崎 典子 (小学部1組担当)	本当に久しぶりの附特で、懐かしさと新鮮さを感じています。元気な児童生徒の皆さんとともに、日々楽しみながら頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

学校ホームページを随時更新中です！右のQRコードからアクセスしてみてください。

